



新年あけましておめでとうございます

実働にもたくさん出会った7ヶ月

昨年5月に産声を上げた認知症カフェ「カフェ・オレンジ」。「立ち位置の異なる人たちのごちや混ぜ協力」を力に、7ヶ月運営してきましたが、その中でたくさんさんの宝物を見つけました。まず「カフェ」の運営を助けてくれる人、大募集！の思いで始めた「カフェ・マスター研修会」。1期あたり延べ400名の受講者で盛り上がりました。6者協定でタッグを組む、医師会・歯科医師会・薬剤師会のご協力と、居場所づくりへ熱い思いを持つ受講者。3期終了時点で79名の登録を頂きました。中心は60、70代の地域活動や傾聴ボランティアの経験を持つ女性。80代の方も、「ここで最後のボランティア活動をします」と数名参加しています。意欲は年齢に勝る、学ぶ意がある限り人は育ち続ける」と教えられました。その皆さんが、日々「カフェ・オレンジ」を盛り立てて下さっています。

毎日運営している認知症カフェは全国でも珍しいらしい。そして来場者の多くは「認知症ではない人」でした。カフェに通いながら卒論を書く学生さん。今後研究のフィールドとしてカフェを活用頂く大学もあります。2月25日には、「第1回学生研究発表会」を開催しますのでお楽しみに。多くの人が居場所を求めていることも分かりました。認知症以外にも、難病、引きこもり、子ども、高齢者・様々です。血相を変えて、相談に飛び込んで来る方。北九州市には、たくさん認知症の支援の窓口も仕組みもあるのに、本当に情報が必要なのに「とん」と情報が届いていないことも分かりました。つなぎ手として役割を果たしていきたいと思

います。視察、見学、研修会やイベント参加で、多くの皆さんにお越し頂きました。健康づくり推進員さんや、カフェ・マスター、一層お越し頂いた方の口コミでの広がり感謝しています。これから広がりのおかげでカフェの存在を知り、個人で来場された方が繰り返し来場頂くの「カフェ」を目指したいと思えます。また出会いが少ない、若年性認知症やADLの方に是非来て頂きたいと思

います。「カフェ・オレンジ」のもう一つの役割に、地域に認知症カフェを広げたいというのがあります。現実には「認知症カフェ」の役割を果たしている居場所も思った以上に多い。でも「認知症予防教室」ならいいけど・・・と、名前に認知症の冠をのけても「認知症は難しい現実。毎来養や、高齢男性の孤児の問題も深刻。小さな一歩を続けて、「気づいたらこれだけ進んでいた」と言えるように今年も前向きに取り組んで参ります。「支援を！

第6回 認知症・北九州大会 1月29日(日)13:30~カフェ・オレンジで開催！

皆さんのご参加お待ちしております！

知って 知らせて つなげよう！

『命をつなぐ！今わたしにできること』13:30~16:00(13時開場)

今回の大会は、さまざまな居場所をテーマに開催します。

居場所があるって 大切なこと！ うれしいこと！

○内容 ★カフェ・オレンジからの発信

★様々な居場所の事例報告

- ・認知症家族の交流の場
- ・難病カフェ
- ・薬剤師カフェ
- ・寺カフェ



開催前3日間

「カフェ・オレンジ」でいろいろなカフェを体験しましょう！

参加申込不要

1月26日(木)

1月27日(金)

1月28日(土)

10時~16時

なんくるかひえ

難病の患者さん
ご家族の交流の場
・ピア相談
・療養相談

10時~15時

家族の会・交流会

介護経験者と一緒に
お茶を飲んで
楽しい時間を
過ごしましょう！

14時~16時

寺喫茶 Cafe★Tera

引きこもりの悩みを
抱えた当事者、家族が
安心して過ごせる
居場所です♪